

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	個別排水処理施設管理運営事業	コード	01-01-10-11	担当課係	下水道課吉永浄化センター
事業実施期間	平成12年3月～		担当者	西田 栄	
総合計画 事業(政策)体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり			
	中項目	生活しやすいまちづくり			
	小項目	下水道			
	施策	適正な維持管理			

事業について	
目的	個別設置型浄化槽施設の機能を維持することにより、周辺の生活環境の改善をはかり、併せて公共用水域の水質保全に資すること。
対象(誰のために)	吉永町地内の特定環境保全公共下水道及び農業集落排水供用開始区域以外で生活をしている設置希望をした市民。(平成17年度末累計 250人 107世帯)
内容	各家庭に設置した浄化槽へ流入した汚水及び生活雑排水を浄化させ、塩素により滅菌した後放流する。

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
設置人口	250 人		
接続人口	227 人		
設置戸数	166 戸		
接続戸数	133 戸		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費 人件費	16,333 1,275	間接補助金等 使用料	3,836	直接事業費 人件費		間接補助金等 受益者負担	
	合計	17,608	一般財源等	13,772	合計	0	一般財源等	0

結果指標①	必要人員	0.20 人		
	結果指標名	接続人口		
	結果指標量	227		
	単位	円		
	対前年比	—	0.00%	
結果指標②	事業費	17,608,000 円		
	単位当たりのコスト①	77,568 円		
	結果指標名	接続戸数		
	結果指標量	133 戸		
	対前年比	—	0.00%	

事業費	17,608,000 円		
単位当たりのコスト②	132,391 円		

事業の成果			
成果指標名	接続率 (%)	式又は説明	浄化槽接続人口/浄化槽設置人口
成果指標量	17年度 91		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	100	到達目標年度	平成27年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等: <input type="checkbox"/>
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input checked="" type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価	評価区分 <A~E>
コメント	B

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	235人	結果指標量②	145戸
目標値	成果指標量	接続率	93%

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	老朽化する施設の効率の改善及び委託費の見直し。	H19~	効率性を高めることにより、結果単位あたりのコストを下げる事が出来る。
有効性	使用料を上げることにより、収入増加を見込む。	未定	収入増収が見込めることにより、結果単位あたりのコストを下げる事が出来る。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。